



俳句

横山容子 選

菜の花や軋ませて寄る車椅子 松木康子

揺れ合うて藤棚重くなりけり 十河多美子

俯瞰する黄砂の中の城下町 野間繁子

町並を貫く車列霾れり 坂田宏子

水芭蕉水より上げし花形 佐伯久美子

オフロード気ままに行くや桐の花 越智幸子

放牛の背中の光り夏初め 渡部喜生

代掻を終へし水面に夕日射 橋本克彦

川柳

藤原真佐 美選

胸の内打ち明けようかれんげ草 池田智恵子

母の日へたつぷり喋る電話口 桑原冴子

天空へ届けと白いカーネーション 三好清信

いい知らせ弾んだ声で電話口 木原恵美子

パスポートビザも持たずに黄砂来る

陽が落ちて賑やかななる雨蛙 加藤泰江

腰痛を忘れさせてる孫一途 高塚フミ子

ばば抜きで孫負け兄に駄駄をこね 高塚啓子

越智富美子

短歌

藤田虎雄 選

暖かき日差しをうけて猫と蛇 微動だにせず

ただ見据えいる 坂根祐子

高高と上がる噴水薫風の強き日となりて飛沫

舞ひをり 森本郁子

鯉のぼり空賑はして無事祈る端午の節句薫風

を呑む 三好清信

強風に泳ぎ疲れて 夕風に鯉の家族はぶらり

と下がる 森田 薫

裏山に自然に咲いたフジの花 雨にうたれて

なお色冴える 神野孝子

「しゃんとしてー」迷う私の耳元に しっかり

り者の母の声する 高橋容子

父母看取り「えらかったね」とほめられつて

イトシヨートに手助けされて 日野菊枝

摩訶不思議 アラン・ドロン of ニューズ聞き

二十の頃に戻るときめき 越智幸子

俳句・川柳・短歌 作品募集

作品は、読みやすい書体で作成し、俳句・川柳・短歌の別を書き、漢字にはふりがなを振り、住所・氏名・電話番号を明記し、毎月1日までに郵送または提出してください。

応募先 〒793-8601

明屋敷164 西条市役所

シテイプロモーション推進課 広報係

TEL 0897-52-1204 (直通)

ふるさと産品通信

これからが本格的シーズン

ぶどう

問合せ

市庁舎新館2階 産品価値創造課 TEL0897-52-1380



ぶどうは、秋の味覚の果物として連想されますが、早いものは6月ごろから店頭に並び始めます。ぶどうには多くの品種があり、品種ごとに旬の時期が異なるためです。

市内では、日当たりが良く、扇状地などの水はけの良い地域である丹原・小松地区などで、ピオーネ、藤稔、紅伊豆、ブラックビート、皮ごと食べられるシャインマスカットなどの品種が栽培されています。

日本でのぶどうの栽培方法は、欧米の垣根式とは異なり、棚式と呼ばれるものです。また、病気などに強い品種の木を台木とし、収穫したい品種を接ぎ木する、もしくはそのように接ぎ木した苗で栽培するのが主流です。

ぶどうには、抗酸化作用などがあるとされるポリフェノールの一種であるアントシアニンや、エネ

ギー源となるブドウ糖・果糖などが含まれています。果皮には白い粉のようなものが付いていますが、これは果実由来のブルームという成分で、水分の蒸発を防ぎ、鮮度を維持するためのものです。甘さについては、房の上の方が糖度が高くなるといわれています。太陽の光が良く当たり、栄養も房の上の方から下の方に届いていきながら、熟していくためです。

これからぶどうの本格的なシーズンが始まります。

市内にはぶどう狩りができる観光農園もあります。いろいろな種類のぶどうの味を楽しんでみませんか。

